

構造設計一級建築士講習  
修了考查問題解答例  
(令和2～6年度)

正誤表

2025.6.10

P336 令和6年度 法適合確認 4肢択一式 No.7 選択肢3

(誤)

3. 製材も指定建築材料に位置づけられている。

(平12建告第1446号第1第十一号 2020年版技術基準解説書 P.49)

(正)

3. 集成材も指定建築材料ではない。

(講習テキスト第Ⅱ編第3章 1-2 材料・許容応力度 P.212)

P336 令和6年度 法適合確認 4肢択一式 No.8 選択肢1

(誤)

1. 記述の通り。

(平12建告第1454号第3 2020年版技術基準解説書 P.293)

(正)

1. 記述の通り。

(平12建告第1458号第3 2020年版技術基準解説書 P.445)

P378 令和6年度 構造設計 記述式 問題1 [No.2] ②

(誤)

$$Q_y = \frac{2M_P}{3} = \frac{2 \times 494}{3} = 329.3 \rightarrow \underline{329(kNm)}$$

(正)

$$Q_y = \frac{2M_P}{3} = \frac{2 \times 494}{3} = 329.3 \rightarrow \underline{329(kN)}$$

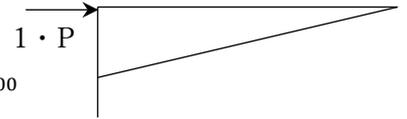
P379 令和6年度 構造設計 記述式 問題1 (No.2) ③

※以下が欠落

同様に梁の片側については同様に

$$1 \cdot u = \int_0^{4000} \frac{M_{oi}(x) \cdot M_i(x)}{EI} dx = \int_0^{4000} \frac{9Px^2}{64EI} dx = \frac{9P}{64EI} \left[ \frac{x^3}{3} \right]_0^{4000}$$

$$= \frac{9 \times 329 \times 10^3 \times \left( \frac{4000^3}{3} \right)}{64 \times 2.0 \times 10^5 \times 4.6 \times 10^8} = 10.73 \rightarrow \underline{10.7 \text{ mm}}$$



柱2本分と梁両側の仮想仕事の合計より、この架構が降伏せん断力に達する時の柱頭の弾性変位  $\delta_y$  は、

$$\underline{6.49\text{mm} \times 2 + 10.7\text{mm} \times 2 = 34.4\text{mm}}$$

となる。

P379 令和6年度 構造設計 記述式 問題1 (No.3)

(誤)

$$\underline{\theta} = \mu\delta/h = 8.5 \times 6.49/3000 = 1/54.38 = \underline{1/54}$$

(正)

$$\underline{\theta} = \mu\delta/h = 8.5 \times 34.4/3000 = 1/10.26 = \underline{1/10.3}$$